

3月11日：大型株、石油ガス関連株が売られ、VN指数は反落

大型株、石油関連株が売られ、週末のVN指数は反落した。

ホーチミン市場のVN指数は0.85%安の1,466.54ポイントで取引を終えた。同指数は前日0.36%高の1,479.08ポイントで引けていた。

騰落別では295銘柄が上昇、164銘柄が下落した。

出来高は前日比で増加し、売買高は8億7,800万株以上、売買代金は28兆ドン（12億米ドル）となった。

大型株への売りはマーケットの重しとなった。VN30指数は0.88%安の1,477.14ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、8銘柄が上昇、22銘柄が下落した。

そのうちビンググループ（VIC）は0.1%安。傘下のビンホームズ、ビンコムリテールもそれぞれ0.3%、0.5%安と売られた。

エネルギー関連株も軟調で、主な値下がり銘柄にはペトロリメックス（PLX）、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）、ペトロベトナム・ケミカル・サービス（PVC）、ペトロベトナムガス（GAS）が含まれた。

銀行株はまちまち。ヴィエティンバンク（CTG）、サコムバンク（STB）、ベトコムバンク（VCB）、軍隊商業銀行（MBB）、ベトナム投資開発銀行（BID）が買われた一方で、TPバンク（TPB）、テクコムバンク（TCB）、エクシムバンク（EIB）、VPバンク（VPB）は売られた。

農薬関連株は堅調な値動き。ラムタオ化学肥料（LAS）が1.3%高、ペトロベトナム・カマウ肥料（DCM）が3.7%高とそれぞれ上昇した。

セクター別では全25業種のうち、不動産、証券、卸売、食品飲料、建設、水産加工、保険、物流といった21業種が下落した。

ハノイ市場の HNX 指数は 1.22% 安の 442.20 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.68% 高の 447.64 ポイントで取引を終えた。

売買高はおよそ 1 億 6,900 万株、売買代金は 4 兆ドンを超えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。